

2022 年度 (令和 4 年度) 学校評価自己評価表

鷹取中学校区	校番 4	福山市立鷹取中学校
最終更新日		2022年(令和4年)4月4日

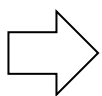
I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち,変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと,各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し,日々の授業を中心として評価・改善を進めながら,子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが通いたくなる学校づくりを引き続き進めて欲しい。</li> <li>気持ちのよいあいさつが校内でできていても,学校を離れるとなかなかできていない状況がある。登校支援をしている方や地域でお世話になっている方には,気持ちの良いあいさつができるよう指導して欲しい。</li> </ul>	児童生徒の現状 <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力はおおむねついているが,思考力や表現力に課題がある。</li> <li>コロナ禍で人とのつながりが希薄になり,地域であいさつができない子どもや人間関係が悩む子どもが増えてきている。</li> <li>長欠・不登校の子ども数が増えている。</li> </ul>	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) 知識・技能 課題発見・解決力 主体性 めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 気づき 考え 行動する 子ども 中学校区として統一した取組等 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが通いたくなる教育活動の推進</li> <li>SDGsをふまえたふるさと学習を通して地域に貢献できる子どもの育成</li> <li>個性や能力が発揮できる学校組織づくり</li> </ul>
---	---	--

III 自校

ミッション 霞小・光小と連携して「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成を図ることを通して,地域に誇れる学校を創造する。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) 知識・技能 課題発見・解決力 主体性	知識・技能	課題発見・解決力	主体性
学校教育目標 主体的に学び,未来を創造できる生徒の育成	めざす子ども像	課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	問いを見だし,その解決にむけて仮説を立てたり,結果を予測しながら実行したり,調査して得た情報を元に自分の考えを形成・表現したりするとともに,仲間と互いの考えを伝え合うことで多様な考えを理解したり,集団としての考えを形成したりすることなどをとおして課題解決したことを,次の課題発見・解決につなげていくことができる。	すべての学習や活動に主体的・協働的に取り組むとともに,仲間と互いの良さを生かしながら,持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え,自ら社会に参画しようとしている。
現状 <生徒> ○生徒は非常に素直で,課題等やらなければならないことはやろうと努力する生徒が多い。しかし,自ら進んで学習に取り組んでいる生徒の割合78.9%,自らの学習を振り返り,課題をやってみたいことを見つけることが出来る生徒の割合70.2%と,いずれも80%を下回り,主体的に学ぶ力が十分についているとはいえない。 <授業> ○各教科ICTを活用し,生徒の学習意欲を高める工夫をしながら授業を進めている。しかし,授業の中で指導者があらかじめ教材や方法をすべて準備しており,子どもが,見通しをもって単元内で自分の学習計画を立て,時間管理をし,課題も自分で考え探究し,振り返りを通して学びを何らかのかたちで報告,表現していくことが出来る教科が少ない。子どもたちが,自分の学び方を選び,学びをデザインできるような授業を目指したい。	研究 テーマ 内容等	主体的に問い続ける生徒の育成 自分で自分の最適な学び方を判断し調整できる生徒(自己調整学習者)の育成		
	めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>考える仕掛けのある授業</li> <li>多様な自己表現の場がある授業</li> <li>学びの価値が感じられる授業</li> <li>子どもが自ら「決められる」場がある授業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>分かる・できたを感じる授業</li> <li>学びが面白いと感じる授業</li> <li>もっと知りたいと感じる授業</li> <li>次へ繋がるふりかえりのある授業</li> </ul>

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立鷹取中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	70%以上評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上評価	達成評価	総合評価
1	子どもたちが通いたくなる教育活動の推進	★	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>「分かった・できた」が実感できる授業づくりを推進する。</li> <li>個に応じたきめ細やかな支援を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科生徒自ら学び方を選び、学びをデザインする場を設定する。</li> <li>各授業で自分の学び方等についてのゆりかえりをさせ、それに対して適切なフィードバックを行う。</li> <li>縦割り集団で活動する場を設定し、リーダーを中心に生徒主体の行事づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力学習状況調査及び生徒質問紙</li> <li>生徒アンケート</li> <li>教職員アンケート</li> <li>長欠・不登校生徒の割合</li> </ul>								
1	SDGsを踏まえたふるさと学習を通して地域に貢献できる子どもの育成		見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>住み続けられるまちづくりを目指し、地域の課題を発見し、解決に向けた取り組みを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人の意見を聞きながら、地域の課題を発見し、解決に向けた取組を進める。</li> <li>明るく住みやすいまちを目指し、本校のスローガン「笑顔であいさつ日本一」に校内外で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケート</li> <li>保護者アンケート</li> <li>講師等お願いした人のアンケート</li> </ul>								
1	個性や能力が発揮できる学校組織づくり		新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の意義を理解し、教職員一人一人が目標を立て、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員一人一人が設定した目標を、管理職が定期的に達成状況を確認し、指導・助言する。</li> <li>定時退校日は、緊急な場合以外は、確実に定時に退校する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務時間45時間以内の達成率</li> <li>教職員アンケート</li> <li>100NEN教育アンケート</li> </ul>								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。